CROSS OVER
「好き」を深める。「好き」が広がる。

奈良大学大学院
社会学研究科　社会学専攻　修士課程
臨床心理学コース

奈良大学大学院　臨床心理学コースの特徴

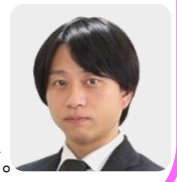
本コースでは、心理臨床の専門的知識と技能を用いて心理的問題に関わり、援助するための高度専門職養成のための教育を目的としています。少人数教育による教員と院生の顔の見える関係での学び、多様な実践現場での実習、臨床心理センター相談員による充実した指導などにより、専門知識を確実に実践につなぐことを目指しています。また、多様な専門領域を経験した教員がいることも本コースの特徴です。本コースを修了することで、公認心理師 および 臨床心理士 の受験資格を得ることができます。

- 少人数教育による、教員と院生の顔の見える関係での学び
- 多様な領域を経験した教員や相談員による充実した指導
- 専門知識を実践につなぐことを目指した、多様な実践現場での実習

教員紹介

星野 修一

精神科病院やクリニック、カウンセリングルームで、精神疾患や生き苦しさを抱える方々との心理療法や支援をしてきました。心理療法や心理検査の中で心の世界が言葉になるプロセスについて研究を進めています。



鈴木 孝

主に小児科クリニックにて，発達障がいや不登校といったテーマを中心に，児童期・思春期の子どもやその家族への支援に携わってきました。心理支援の利用者が支援に対して抱くイメージ・価値観を研究しています。

今井由樹子

少年警察補導職員とスクールカウンセラーとして、非行の問題、被害者支援等にかかわってきました。現在は、学校での性暴力の加害と被害からの回復と予防に関心があります。

礒部美也子

児童相談所での勤務を経て教員になりました。発達臨床が専門で、療育機関、学校、施設等における、心理的・発達的に課題のある子ども達への援助に関心を持っています。

林 郷子

主に教育相談センターで心理臨床の実践を積んできました。教育臨床や児童･思春期の心理臨床に携わってきて、遊戯療法や箱庭･描画などの表現療法への関心があります。

2025 年 4 月 1 日現在

大学院における学び

奈良大学臨床心理センター

地域の相談機関である本センターは、2007 年に臨床心理クリニックとして開設されました。2024 年度より臨床心理センターとして新たにスタートすることとなりました。ここで院生たちは、インテーク面接の陪席、カウンセリング・プレイセラピーの担当、心理検査の実施等を行います。ケースを担当する場合には、必ず学外のスーパーヴァイザーの指導を受けるとともに、教員や相談員の指導を受ける体制を整えています。面接だけではなく、電話の受け方、面接室の整え方なども含めて、生きた実践として学びます。センターで定期的に実施されるカンファレンスでは、担当した事例を発表し、相互に学び合う場としています。

学外実習

心理臨床の現場に入り、活動の実際に触れたり、利用者の方の支援に関わったりします。とくに修士２年生では、継続的な参加を行うことで、より実践的な理解が深まるとともに、修了後に向けて意欲も高まります。

実習機関（一部選択制）	
修士１年	総合病院　心療内科クリニック　小児科クリニック　療育園　こども園 児童相談所　児童養護施設　少年鑑別所　メンタルヘルスセンター(産業)
修士２年	精神科クリニック　総合病院　こども園 教育支援センター　高等学校教育相談室　学びの多様化学校

将来は医療機関で働くことが夢だったので、実際に現場を見せていただいたことで、さらに意欲が高まりました。（実習報告より）

子どもの新しい一面を知るたびに驚きや嬉しさを感じるとともに、関わり方の難しさを実感することができました。（実習報告より）

少人数で先輩後輩の距離が近く、なんでも相談しながら学ぶことができます。座学だけでなく実習授業から実践で活かせる技術をつけることができ、視野が広がりました。ぜひ専門的に学ぶことができる環境に来てみてください。

市川　由唯

（2025 年度　修士２年）

多様な分野の実習先で臨床の現場を体験しながら、専門性の高い授業で学ぶことができます。学ぶ中で自分自身とも向き合い、毎日新しい気づきや発見の連続です。多くの出会いや経験を重ねながら、充実した日々を送っています。

首藤　純怜

（2025 年度　修士２年）

授業科目

必修	臨床心理学演習Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ･Ⅳ／臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）／臨床心理査定演習Ⅱ／臨床心理基礎実習／臨床心理実習／臨床心理学特論Ⅰ･Ⅱ／臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）／臨床心理面接特論Ⅱ／学位論文
選択必修	臨床心理学研究法特論／心理統計法特論／発達心理学特論／教育心理学特論／社会心理学特論／犯罪心理学特論（司法･犯罪分野に関する理論と支援の展開）／障害者(児)心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）／精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）／心身医学特論／投映法特論／学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）／ｸﾞﾙｰﾌﾟ･ｱﾌﾟﾛｰﾁ特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）／心理療法特論／産業･組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）／心理教育特論（心の健康教育に関する理論と実践）／心理実践実習Ⅰ･Ⅱ

修士論文のテーマ（例）　九分割統合絵画法による対人関係イメージについて ／ フリースクールに通所する中学生および高校生の居場所感と成長感に関する一研究 ／ 発達障害児をもつ親の育児不安に関する研究 ／ マインドフルネス実践の継続を促進する要因と抑制する要因についての検討 ／ カウンセリングにおける沈黙のイメージに関する研究

修了後の進路

様々な領域で先輩たちが活躍しています！

（主な就職先）病院・クリニック（総合病院、精神科、児童精神科、心療内科、内科等）　精神保健福祉センター　家庭支援センター　児童相談所　児童養護施設　児童心理治療施設　発達障害支援センター　若者支援センター　放課後等児童デイサービス　高齢者施設　スクールカウンセラー　教育支援センター　教育相談所　学生相談室

スクールカウンセラーとして、児童・生徒または保護者のカウンセリング、教職員のコンサルテーション、研修等を行っています。仕事で日々悩むことは多いですが、やりがいのある仕事だと感じています。大学院では、授業や実習体験等で臨床現場に必要な基本的なことを多く学ばせていただきました。その経験が今の自分の基礎を形作っていると思います。自分が求めれば、それに応えてくれる先生がいらしたので、とても心強かったです。

園田　正伸
（2014 年修了）
公立中学校・高等学校
スクールカウンセラー
（臨床心理士・公認心理師）

藤村　奈未
（2016 年修了）
独立行政法人国立病院機構
天竜病院
心理療法士
（臨床心理士・公認心理師）

病院で心理検査やカウンセリングを行っています。どのように援助するか、日々悩み、クライエントから学びながら臨床を行っています。大学院での授業や実習体験で、様々な視点や価値観に触れることができましたが、これらが多様な援助方法を考える際に活きていると感じます。奈良大にはやる気に応えてくれる先生がたくさんいらっしゃり、多くのことに挑戦し、経験を培うことができました。

修了後のサポート

相談補助員制度

修了後２年間、研修生として、臨床心理センターにおける心理臨床業務に携わったり研修に参加することができる制度を設けています。

現場ではひとりの専門家として扱われるため、なかなか意見をもらいづらいです。そのため、院生や先生方から意見をもらえるこの制度がとてもありがたいです。自身と改めて向き合い、よりいっそう専門家としての能力を向上させることができます。

奥田　真歩（2025 年度 相談補助員）

現場ではなかなか得がたい、継続的なカウンセリング経験を積めます。職場での経験と相談補助員の経験が互いに影響し合い、一人のセラピストとしてのスキルアップへとつながります。いつもありがたい環境であると実感しています。

榊　拓己（2025 年度　相談補助員）

資格試験　勉強会

公認心理師および臨床心理士資格試験に向けて、定期的に勉強会を実施しています。過去問を解きながら、互いに疑問をぶつけあい、あらためて心理臨床の基礎を確認する場としています。ひとりでは意欲が続かない場合も、勉強会に来ることでモティベーションを高めることができます。

院生･修了生合同事例検討会

年に１回、院生と修了生が合同で行う事例検討会「ならりん研修会」を開催しています。様々な領域で活躍している同期・先輩・後輩が一堂に集って、学びを深めたり情報交換ができる貴重な場となっています。院生にとっても大きな刺激となります。

様々な学びのサポート

園児に発達検査を実施

地域にあるこども園との連携のもと、実際に園児を対象として発達検査の実習を行っています。幼児の生の反応に触れられる貴重な経験です。

教育相談事業への参加

奈良県下にある公立教育センターの教育相談事業に実際に参加する機会をつくっています。子どもの行動観察やアセスメントを通して、相談の一端を担います。

子どもと遊ぶイベント企画

夏休みに、地域の子どもたちと一緒に遊ぶイベントを企画します。子どもたちと直にふれ合う体験ができるとともに、現場に活かせる企画力・発信力が磨かれます。

資格取得

公認心理師

心理職の国家資格です。保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働などの分野で、専門的な知識や技術を活かし、相談や助言を通じて“こころの支援”を行う専門職で、2017 年に法が施行されました。大学で必要な科目を修得した後、本コースで必要な科目を修得することで、受験資格を得ることができます。

臨床心理士

（公財）日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格です。臨床心理学に基づく知識や技術を活かして、幅広い分野で、人間の“こころ”の問題にアプローチする“心の専門家”です。認定された大学院で必要単位を修得することで受験資格が得られます。本コースは指定大学院（1種）の認定を受けています。

奨学金制度

奈良大学独自の「奈良大学奨学金」は、単年度・無利子貸与で行っていて、次年度も引き続き希望する学生は、募集期間に改めて申請すれば、再度借りることも可能です（採用人数枠があります）。その他、「日本学生支援機構奨学金」や、「奈良大学緊急支援貸与金」などがあります。

奈良大学奨学金	
月額と期間	月額：55,000 円(修士課程)　無利子貸与　期間：4 月から 1 年分
出願資格	優れた人物で経済的理由により就学困難な学生
募集時期	4 月
返還	修了後、年譜返還 10 年以内

入試について

秋季入試（9 月）と春季入試（2 月）の 2 回の実施となります。また、一般入試と社会人入試があります。
詳細は奈良大学ホームページの入試サイトをご確認ください。　https://www.nara-u.ac.jp/admission/

	試験科目等
一　般	（一　般）専門科目(臨床心理学)、英語、口頭試問および論文等
社会人	（社会人）専門科目(臨床心理学)、研究主題に関連する小論文、口頭試問および論文等

※社会人入試については、出願時に社会人としての経験年数が 3 年以上の方

〒631-8502　奈良市山陵町 1500
奈良大学総合研究所･大学院事務室
TEL　0742-41-9508　　FAX　0742-41-9550

入試サイト
はこちら